

広報革新プロジェクト 立教大学 経営学部学生との広報戦略ディスカッション

令和元年12月13日（金）15時20分から18時30分まで、立教大学においてキャリアセンター部長 経営学部佐々木教授のゼミナール生と広報革新プロジェクトによる業界広報についてのディスカッションが行われた。参加者は立教大学経営学部生23名と、島田俊夫座長（株）CAC Holdings 特別顧問 他プロジェクトメンバー4名。

はじめに島田座長よりインプットセッションとして、システムインテグレータとは何か、こういった人材がこれから活躍するかについて20分間説明が行われた。

そのインプットセッションを受け、「システムインテグレータについて若者に知ってもらうための戦略について」というテーマで大学生主体のグループディスカッションが行われた。プロジェクトメンバーもサポートとしてディスカッションに参加。ディスカッション後、計6班による結果のプレゼンテーションが行われた。

プレゼンテーションでは「システムが世の中を支えている重要性を知ってもらうために、システムインテグレータがなくなった世界観を広報する」「名前さえも知らないため、業界名や社名だけを伝える広告を打つ」「芸能人にエンジニア役を演じてもらい、その生活について取り上げたインスタグラムアカウントを開設する」等イメージ戦略やSNSの活用方法についてユニークなアイデアが多く出た。また「東京勤務であることをよりアピールする」「在宅勤務が進んでいることを強調する」など、働き方についてより言及するべきという案も出された。

（小泉・會木）

